



環境保全米通信



みんなでいただきます!!

秋号

2020年10月発行



学校給食TV取材 「みんなで宝をいただきます」
登米市立西郷小学校



【もくじ】

1. 『環境保全米』 学校給食がはじまります。
2. 『環境保全米』 新米試食会へのメッセージ
3. 『環境保全米』 新米試食会！



アンケート大募集

応募者プレゼントも!

くわしくは最後のページへ!!



みやぎの環境保全米とは?

環境保全米県民会議とは?



みやぎの自然豊かな環境を守るために、農薬・化学肥料を宮城県の標準的使用量(※)の半分以下に減らし、自然と人間の力をあわせておいしいお米作りを行う。それが「みやぎの環境保全米」です。

そんな「みやぎの環境保全米」を広めるため、県内の消費者・生産者・マスコミ・関係機関・団体が一体となり2007年に設立されたのが「みやぎの環境保全米県民会議」です。

※宮城県の標準使用量

化学農薬 17 成分、化学肥料(窒素成分) 7kg/10a



「環境保全米」学校給食がはじまります。



「環境保全米」給食が始まります！ 今年（令和2年）11月の学校給食への新米切替えから、宮城県内の多くの学校給食用に宮城県内各地域産の環境保全米ひとめぼれ1等（特別栽培）を提供することになりました。宮城県の未来を担う子供たちに、環境にやさしく、安全・安心なお米を提供し、これからの持続可能な社会づくりのために、環境問題や食料問題、持続可能な農林水産業を考える機会を提供していきます。



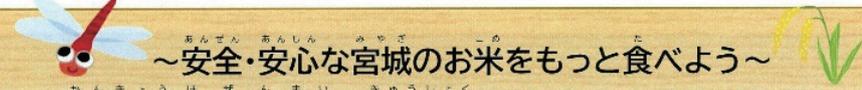
宮城のお米を学校給食に提供する産地の思い！ 宮城県の学校給食は、1976年（昭和51年）に米飯給食が導入されてから、1986年（昭和62年）まで、ササニシキの主産地にも拘わらず、他県産の政府米が提供されていました。当時は、政府米を使用するのが普通でした。子供たちに地元のササニシキを学校給食で食べさせたいという機運が持ち上がり、1987年（昭和62年）に多賀城市で、全国にさがけて、学校給食に地元良質米ササニシキが提供されました。これは多賀城方式として全国的に有名になりました。1989年（平成元年）には、県に米飯学校給食普及拡大推進委員会が作られ、地元産の良質米を学校給食に提供する「多賀城方式」は、県内33市町村まで拡大しました。2000年（平成12年）には学校給食に「宮城自主流通方式になり、お米の銘柄は、「ひとめぼれ」になりました。こうした地元のお米で子供たちを育みたいという思いが、各市町村で作られたお米を各市町村の学校給食に提供するルールが宮城県内に広がっていったのです。



環境保全米は、2003年（平成11年）からJAみやぎ登米から組織的に始まり、2007年（平成15年）には、JAグループ宮城が環境保全米全県運動を展開し、宮城県内のJAで環境保全米の生産が拡大しました。各市町村のお米を各市町村の学校給食に提供できる仕組みがあり、各市町村で環境保全米を生産している実績があることがわかり、関係者の働きかけで、多くの各市町村の「環境保全米」を各市町村の学校給食に提供できる画期的な取り組みが実現することになりました。



11月からは、右の図のようなパンフレットを宮城県内の小中学生に配布して、環境保全米の学校給食を始めます。家族みんなで、宮城の環境保全米を食べることから、環境のこと地球のことを話題にしませんか！



～安全・安心な宮城のお米をもっと食べよう～

「環境保全米」給食がはじまります！

発行：宮城県米飯学校給食普及拡大推進委員会・JA宮城中央会・JA全農みやぎ

令和2年11月から、小学校・中学校向けの給食に、「環境保全米ひとめぼれ1等（特別栽培）」を順次お届けします。「環境保全米」は、自然と人間の力をあわせて作ったやさしいお米です。豊かな自然を思い浮かべながら、ゆっくりと味わって食べてみてください。

※市町村で「環境保全米」の供給量が不足する場合は、期間限定の提供となります。



「環境保全米」ってどんなお米？

「環境保全米」は、「化学肥料」（稲の栄養補給）や「農薬」（稲の病気予防）の使う量を、ふつうの米づくりと比べて半分以下に減らして作ったお米です。

「化学肥料」や「農薬」の使う量を減らすことで、カエルやトンボなどの田んぼに暮らす生きものたちが住みやすい環境になっていきます。また、そうした取り組みにより、稲がもつ「生きようとする力」を引き出し、田んぼのきれいな水と土を守ります。

そんな田んぼで育ったお米、それが「環境保全米」です。



「環境保全米」が果たす役割

- 「環境保全米」を食べることは、環境を守ること

「環境保全米」は、農業や化学肥料の使用量を減らし、環境への負荷を軽減することで、土や水をきれいにし、水田の生きものを豊かにします。「環境保全米」を食べて生産者を応援することは、皆さん自身が環境を守ることに繋がるのです。

- 「SDGs」世界的な目標達成に貢献

「SDGs」とは、人が将来も安心して暮らすことができる世界を目指すために、国連サミットで定められた国際社会共通の目標です。「環境保全米」の取り組みは、その達成に貢献するものです。

- 「安全・安心」なお米で健やかな成長をサポート

ふつうのお米づくりよりも、さらに手間をかけて、「安全・安心」にこだわって作られた「環境保全米」。毎日の給食を通して、皆さんの健やかな成長を応援します。



このマークが目印です。

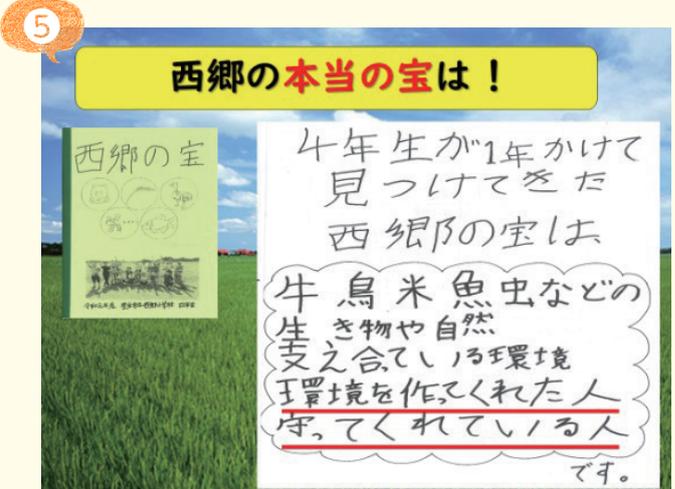
お米と安らぐ人の表情を重ね合わせて「環境保全米」＝「安全・安心なお米」のイメージを表しています。一本でつながった線は自然の循環を意味し、「安心」を想起させるハートの形を用いました。ロゴも見やすさに加え、ナチュラル感のあるやさしいイメージを打ち出しました。また、豊かな自然を意識した黄緑単色をベースカラーとしています。ぜひ、このマークを探してみてください。

2 「環境保全米」新米試食会での 西郷小学校の児童たちのメッセージ

10月1日の「環境保全米」新米試食会で、西郷小学校の鈴木周一先生は、当時4年生の20名が去年調べた「西郷の宝物探し」について報告し、生産者の皆さんにエールを送りました。鈴木先生の報告から「環境保全米」に関するところを、校長先生、鈴木先生と、児童たちの理解を得て、下記の発表資料も掲載しました。

鈴木先生が、4年生の担任になった時に子どもたちに尋ねました。「西郷のすごい所って、どんなところですか？」と。子どもたちは、なかなか西郷のすごいところを探せませんでした。そこで、鈴木先生は、「さあ、みんな、西郷の宝物を探さないか！」と呼びかけました①。子どもたちは、地域調べをして、西郷の田んぼや水路、遊水池に出かけ、生き物調査をして、いろいろな魚や水生生物、昆虫を探してきました。渡り鳥観察では、周辺水田に出かけ雁や白鳥を観察しました。また肉牛農家にも出かけおいしい仙台牛をつくる秘密を聞いてきました。ある子どもが米農家さんのご自宅に伺って、「お話を聞かせて下さい！」とお願いしました②。ここで、彼女は、

初めて「環境保全米」のことを知りました。「環境保全米」は、西郷の宝だと思った彼女は、クラスみんなにこのことを知らせ、「環境保全米」を学ぶ会を開きました③④。たくさんの米農家さんが集まって、「環境保全米」の秘密を教えてくださいました。「環境保全米」は、「環境を大切に思う特別なお米だったんだ！」とクラスみんなが気付きました。西郷の宝探しでわかったこと⑤。「4年生が1年かけて見つけてきた西郷の宝は、牛・鳥・米・魚・虫などの生き物や自然を支えあっている環境と環境を作ってくれた人・守ってくれている人です。」



3お 「環境保全米」 新米試食会 !!

10月1日、「みやぎの環境保全米 新米試食会」が、今年は「密」を避けるために、会場を勝山館に移して開催されました。今年の試食米は、ひとめぼれがJA新みやぎあさひな地区本部管内産で、ササニシキがJA古川管内産、つや姫がJAみやぎ仙南管内産、さらに特別試食のだて正夢はJA新みやぎ栗っこ地区本部管内産でした。4つの品種を食べ比べながら、宮城県産の食材で作られた料理(蔵王の卵、気仙沼のめかじきなどを使用)を頂きました。

今年は、11月から宮城県内の学校給食に環境保全米が使われることになり、小学校の現場から先生をお招きして、環境保全米を取り上げた授業実践や学校給食活動について報告されました。(この報告の内容は前頁を参照) 登米市立西郷小学校の鈴木周一教諭からは、5年生の子供たちから生産者へのメッセージが読み上げられました。「お米一粒一粒は、とても小さいけれどこの一粒一粒にはたくさんの大きくてあったかい思いが込められている。ありがとう。いただきます。」また、宮城県農政部からは、今年の作柄が報告され、楽天野球団・ベガルタ仙台・仙台89ERSへの新米贈呈と各チームからの環境保全米へのエールが送られました。



子供たちのメッセージで、いただきます!!



ひとめぼれ・ササニシキ・つや姫

★環境保全米通信夏号の記事へのご意見

興味深かったのは、2019年の生き物調査の結果では、前年と比較してほとんどの生き物の平均点数が上昇しているということ。環境保全米と慣行栽培の違いもよりはっきりしているように見受けられること。(横浜市Yさん)・「環境保全米って、いつ、なぜ始まったのですか?」の記事が面白かったです。私の家の近くでは、そのような田んぼをみたことがなく、環境保全米と聞いてもピンときませんでしたが、この記事を読み、身近で行われている環境保護活動を知る良い機会となりました。(仙台市若林区Kさん)

 表紙の写真について
毎年、秋に放映している環境保全米のテレビCM。今年は多くの小中学校の給食で環境保全米が提供されるのを受けて、先行実施している西郷小学校の給食風景を紹介しています。写真はその撮影の様子です。元気な子どもたちの笑顔がいっぱいです。10月から12月にかけて、tbcテレビで流れます。(金曜日ウォッチング宮城の枠内ほか)

ご感想をお寄せください

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で、
環境保全米2kgを10名様に

Q1 興味をもった記事は?その理由も。

Q2 環境保全米への疑問や取り上げてほしいテーマ等。

●応募方法

次の項目をご記入の上、FAX・メール・郵送で応募先までお送りください。

・アンケートの回答 ・希望のプレゼント ・お名前 ・年齢 ・ご住所 ・電話(FAX)番号

いただいた回答および個人情報は当法人にて厳重に管理し、プレゼントの発送、または各種情報の提供、イベントの案内以外の目的では使用いたしません。

●応募締切

2020年11月30日 ※抽選結果は発送をもって代えさせていただきます。

●応募先

NPO 法人 環境保全米ネットワーク事務局

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉 1-16-3 JAビル別館 5F

TEL 022-261-7348 FAX 022-261-7488

Email okome@epfnetwork.org

URL <http://www.epfnetwork.org/>

環境保全米

検索

【アンケート記入例】

●アンケートの回答

Q1)-----

Q2)-----

●名前 保全米 太郎

●年齢 40歳

●住所

〒980-0011

宮城県仙台市青葉区上杉

1-16-3

●電話番号

022-261-7348